

中学1年3組 美術科学習指導案

指導者 錦 織 秀 行

モデルのアイデアスケッチについて学級全体で話し合ったことは、新たな発想やよりよい表現方法へつなげていくことに対して有効であったか。

1 題材名 型取れ！ドリーム☆ピーマン ～彫刻～

2 授業の構想

(1) 本学級は、学習に対して積極的に取り組もうとする生徒が多く、1学期に行った「自己PRカードをつくろう」においても、基礎・基本を身に着けながら、自分なりの表現で意欲的に作品制作に取り組む姿が見られた。しかし、事前調査をしてみると、「下描きはうまくいっても、着色がうまくできない」や、「どんな色で塗ったらいいかわからない」、「アイデアが決まるまでに時間がかかる」など、苦手意識を抱いている生徒も少なくない。また、小学校での造形遊びの経験が十分になかったり、立体作品に比して平面作品が多くなる傾向がある。また、自分の意見を発表したり人に伝えたりする活動においても意欲的に行う生徒が少なくなり、人任せといった雰囲気も出てきた。

そこで、本題材では立体作品を取り扱い、石膏を用いて型取りを行ったり、石膏自体にデザインしたりする中で、手で触ったり、つくったり、着色したりできる要素を取り入れ、興味をもって学習できるように工夫した。また、アイデアスケッチの段階や作品が完成した後で学級全体及びグループによる話し合いや意見交換の場を設定し、モデルのアイデアスケッチや自分の作品、グループの友だちの作品などについて、かかわり合いながら様々な意見を意欲的に発表し合い、お互いに高め合っているように計画している。

(2) 本題材では、より専門的な素材に親しませたいと考えたため、石膏を扱った作品制作を行うことにした。彫刻において石膏はよく使用される素材であるが、中学校の教材としては取り扱われる機会が少なく、特に石膏による型取りは、教科書や美術資料などの書籍にもほとんど掲載されていないのが現状である。本題材では、新しく出会う素材である石膏による型取りを通して、石膏の不思議さや彫刻の技法などを体験させ、石膏の魅力に触れさせたいと考えている。そして、身近なものを石膏に置き換えることの面白さや立体物にデザインする楽しさなどを体験させたい。

型取りのモチーフとして、中学校美術科で彫刻のモデリングやデザインの平面構成などでもよく採り上げられているピーマンを選んだ。ピーマンは形の不思議さや面白さ、大きさや作業のしやすさなどの点から中学生に適しており、扱いやすい素材であると考えた。また、野菜や果物など長時間、形の維持が困難なものや加工に向かないもの（今回はピーマン）を石膏という素材に置き換える（コピーする）ことの面白さを考えた。

また、アイデアスケッチの段階でモデルを提示し、それについて学級全体で話し合う場を設けている。この活動によって、追体験やアイデアスケッチを深めることにつながり、個人思考や集団思考を高めることに有効であろうと考えている。

(3) このような本題材の素材のもつ魅力と本学級の生徒の実態を踏まえた上で、以下のように展開する。

第1次では、まず石膏に興味・関心を抱かせる必要があると考え、導入部分では石膏を使った立体コピーの作品を制作しているジョージ・シーガルの作品と関連させながら参考作品を鑑賞させる。グループごとに2種類の作品を配り、「どのようなテーマで制作された作品か」、「作品自体はどんな素材でできているか」、「どんな方法で制作されたものか」などについて、グループでのかかわり合いを通して推理し、意見をまとめさせたい。また、全体場で発表させることにより、様々なデザインがあることや作品制作の可能性を共有させたいと考えている。本題材に共通するテーマは「不思議な力」とし、「こんな

力があつたらいいなあ」とか、「こんな夢を実現させたい」といった夢の詰まったピーマンを制作することを確認し、これからの制作に意欲付けを行いたいと考えている。合わせて、ピーマンの形の不思議さや面白さを伝え、興味・関心を抱かせたい。

第2次では、石膏自体がどのような素材でどのような変化をする物質なのか特徴を理解するために、石膏体験を行いながら興味・関心を抱かせたい。これは水の入ったビニール製のカップに粉状の石膏を入れ、ゆっくりかき混ぜているうちに発熱しながら硬化していく状態を一人ひとりが体験するものである。

第3次では、ピーマンの型取りを行う。型取り作業は一般的な技法に近い方法で行うが、中学生でも容易にできるように工夫しながら指導したいと考えている。今回の型取りではピーマン自体が抜け勾配でない部分もあるため、分割型という方法を取り、外型として牛乳やお茶等の紙製パック（以下牛乳パック）を用いることにした。これは最初の分割型をつくる際に、牛乳パックの中でつくることにより、後の外型をつくる作業を短縮することができるためである。仕切り板をつける際は、ピーマンを果物ナイフで3つに切断し、薄いプラ板に接着剤で直接ピーマンを貼りつけていく。いわゆるピーマンに切金状の板を挟み込んだ状態である。そして乾燥して固まった型を牛乳パックに入れ、溶いた石膏を流し込んで型取る。

第4次では固まった型を分解し、中からピーマンを取り出す作業を行う。その際には仕切り板をピーマンに挟み込んだ理由を解説しながら、簡単に型を分解することができることを確認する。その際に、分解しやすいように彫刻刀で溝を掘る場面もあるため、安全指導も確実に行う。

更に完成した型の内側に離型剤を塗布し、元の形に組み合わせ、新たに石膏を流し込む。乾燥後に型を外せば石膏ピーマンが出来上がる。ただし、型を外す際にピーマンが多少ズレたり型自体に欠けや割れが起こっている場合もあるため、取り出した石膏ピーマンを彫刻刀や紙やすり等で表面処理を行う必要がある。これらの作業を通してピーマンという材料を食べ物ではなく、今回は彫刻の原型として扱っているということを間接的に理解させたい。指導方法としては教材提示装置を利用し、スクリーンに投影しながら制作方法を説明し、視覚的にも理解しやすく工夫したいと考えている。

本時ではアイデアスケッチの途中の段階で、モデルのアイデアスケッチについて学級全体での話し合いの場を設け、そのよさや修正点などを発表し合い、よりよい表現方法へつなげていけるように促したいと考えている。この活動が追体験として更にアイデアを発展させたり、自分に返ってきたりするようになり、集団思考や個人思考が高まることに期待している。そして、かかわり合いながら新たな発想や多様な表現を生み出すことができるのではないかと考えている。

第6次では、アイデアスケッチをもとに完成した石膏ピーマンの表面にアクリルガッシュで着色を行う。着色に関しては、野菜ということにはとらわれずにどんな「不思議な力」を表現するのか、自由な配色や構成を考えながらアイデアを練っていけるように声掛けをしたい。

第7次では、作品完成後に鑑賞会を行い、制作した作品を「不思議な力」をテーマに、工夫した点や苦労した点などをグループの友だちにプレゼンテーションし、お互いの作品に対する感想などをメッセージとして贈り合う。

3 展開計画（全11時間 本時8/11）

次	主な学習	時	具体的な学習・内容（◇は、学級全体の学び合いの場面）
1	どんなテーマでつくられているか 推理してみよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品に着色されている図柄や模様はどんなテーマでデザインされているか推理する。 ・各グループに配られた2つの参考作品に共通するテーマを考える。 ・参考作品に込められている思いや願いを考え、意見を出し合ってホワイトボードにまとめる。 ◇グループでまとめた意見を学級全体で発表し合い、表現の多様性を見出す。

2	石膏体験をしよう	2	・水の入ったビニール製のカップに粉状の石膏を入れ、ゆっくりかき混ぜているうちに発熱しながら硬化していく状態を体験する。
3	ピーマンの型取りをしよう	3	・ピーマンを果物ナイフで3つに切断し、薄いプラ板に接着剤で直接ピーマンを貼りつける。
		4	・乾燥した型（ピーマン）を牛乳パックに入れ、溶いた石膏を流し込んで型取る。 ・乾燥後、牛乳パックから取り出した型に彫刻刀で溝を掘り、型を分解してから中に入っているピーマンを取り出す。
4	石膏でピーマンをつくろう	5	・離型剤を型の内側に塗布し、石膏を流し込む。
		6	・乾燥後、型を分解し、石膏でできたピーマンを取り出す。 ・石膏ピーマンの表面処理を行う。
5	ピーマンのデザインをアイデアスケッチしよう①	7	・「不思議な力」をテーマに、石膏ピーマンの表面に描くデザインを考え、アイデアスケッチを行う。
	モデルのアイデアスケッチについてみんなで話し合おう	⑧	◇モデルのアイデアスケッチについて学級全体で話し合い、発想や構想につなげる。
	ピーマンのデザインをアイデアスケッチしよう②		・学級全体での話し合いをもとに、アイデアスケッチを発展させる。
6	石膏ピーマンを着色しよう	9 10	・アイデアスケッチをもとに、石膏ピーマンに下描きし、アクリルガッシュで着色する。
7	友だちの作品を鑑賞しよう	11	・「不思議な力」をテーマに、工夫した点や苦労した点などをグループの友だちにプレゼンテーションする。 ・お互いの作品に対する感想などをメッセージとして贈り合う。

4 評価計画

次	時	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
1	1	ピーマンの形の魅力やデザインすることの面白さを感じようとしている。	制作手順を理解している。		参考作品に込められている思いや願いを考え、意見を伝えている。
2	2	石膏の性質や特徴に興味をもとうとしている。	石膏の性質や特徴を理解している。	水の入ったカップに石膏を入れ、ゆっくりかき混ぜて硬化させている。	
3	3	ピーマンの型取りに興味をもとうとしている。	型取りの制作手順を理解している。	ピーマンを3つに切り分け、仕切り板に貼り合せている。	
	4		説明を聞き、仕切り板をピーマンの間に挟み込んだ理由を理解している。	型を分解し、中に入っているピーマンを取り出している。	
4	5	石膏ピーマンを意欲的に制作しようとしている。	石膏ピーマンの制作手順を理解し、計画的に制作している。	型の内側に離型剤を塗布し、石膏を流し込んでいる。	
	6			型から取り出した石膏ピーマンの表面処理を行っている。	
5	7	ピーマンのデザインを意欲的に考えようとしている。	独創的なデザインを考えている。	ピーマンのデザインをアイデアスケッチしている。	

5	⑧	モデルのアイデアについて考えたことを、意欲的に発表したりアイデアスケッチしたりしようとしている。	モデルのアイデアについての発表を聞き、自分のアイデアスケッチに生かそうとしている。		モデルのアイデアに対して自分なりの考えを発表しようとしている。
6	9 10	興味をもって石膏ピーマンに着色しようとしている。	アクリルガッシュの特徴を理解し、計画的に着色している。	アイデアスケッチをもとに、丁寧に着色している。	
7	11	完成した作品について意欲的に発表やメッセージ交換をしようとしている。		自分の作品について、友だちにアピールポイントや思いを伝えている。	自分の作品について思いを伝えたり、友だちの作品に対してメッセージを伝えたりしている。

5 本時の学習

(1) ねらい

- ・モデルのアイデアスケッチについて、自分なりの言葉で発表することができる。
- ・話し合いの内容をもとに、自分のアイデアスケッチに生かし、発展させることができる。

(2) 展開

学習場面と子どもの取り組み	教師の支援と願い・評価 (◎は学び合いのためのはたらきかけ)
1. 前時を振り返り、本時の活動の目標を確認し、見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に行ったアイデアスケッチについて、ワークシートを用いて確認する。 ・本時の学習に見通しがもてるように、目標を提示する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルのアイデアスケッチについて、自分なりの言葉で発表しよう！ ・話し合いの内容をもとに、自分のアイデアスケッチに生かそう！ </div>	
2. 学級全体でモデルのアイデアスケッチについて話し合いをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なものが描いてあり、すごく分かりやすくていいと思います。 ・もう少し明るい色で塗ると元気な感じがすると思います。 ・AのアイデアよりBの方が内容が伝わりやすく、不思議な力に合っていると思います。 	◎生徒たちがモデルのアイデアスケッチについて意見を発表しやすいように、文字や配色、構図など洗練したものをモデルとして提示する。 ◎いくつかのモデルの中からどれを選択するか、またその根拠は何か、選んだモデルをどう修正すれば思いが伝わりやすくなるのかなど、具体的な問いに対して意見を発表しやすいように促す。
3. 学級全体での話し合いをもとに、アイデアスケッチを仕上げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・モデルのアイデアを少し変えて自分のアイデアに付け加えてみよう。 ・自分のアイデアもみんなが言うように配色を変えてみよう。 	◎学級全体での話し合いをもとに、これまでのアイデアを見直したり、更に発展させたりできるように支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">—— 評価の観点（発想や構想の能力） ——</p> <p>モデルのアイデアについての発表をもとに、自分のアイデアスケッチに生かそうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【評価方法 観察・ワークシート】</p> </div>
4. 本時をふり振り返り、ワークシートにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いからいいアイデアが浮かんだ。 ・早く着色をしたい。 	◎本時の学習について、参考になったこと、気づいたこと、深まったことなどをワークシートに記入するよう声をかける。